

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービス ぼっぼ		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 13日	～	R7年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 11
○従業員評価実施期間	R7年 12月 1日	～	R7年 12月 12日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会福祉法人の為、他施設との共用のグラウンド・遊具で遊んだり、広い室内空間を借りることができ、環境・体制面で恵まれている。	毎日、天候を考慮しながら外に出る機会を作り、ご自宅では出来にくい自転車の練習、ボール遊び、鬼ごっこ等を思いっきりしている。	・グラウンドや近所への散歩を通して、交通安全に気を付けることが出来るようにしていく。 ・警察署等に依頼をして、交通安全教室を行う。 ・公共の施設を利用し、公共マナーも学ぶ機会を増やす。
2	・適切な療育支援を行えるように、チームで支援方法の見直しや、研修を行っている。 ・言語聴覚士が週に1度程度、個別療育を行っている。	・毎日の振り返りで、不適切な支援は無かったか？効果的な支援があった、等を共有し日々研鑽している。 ・研修内容は職員全員が受けられるように、動画等や事業所内研修にて周知している。	・スーパーバイザーや医師等に依頼をし、助言を頂き支援に反映していく。 ・言語聴覚士としての研鑽を積んでもらう。
3	放課後等デイサービスでの様子を、送迎時やSNS、月に一度の広報誌等を通して保護者へ伝えており、情報共有が出来ている。開かれた事業所である。	日々、良いことも悪いこともお伝えできるように、保護者との信頼関係や環境の構築を行っている。家庭や学校での様子と違い戸惑う保護者も多いが、後々同じような行動が家庭や学校でも出てくる場合がある為、誠実に対応している。	保護者との信頼関係を構築するために、ファミリーサポート(研修やレクリエーション、モニタリング時に父親同席等)を充実させていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ファミリーサポート(保護者、きょうだい児)を積極的に行えていない。	土日に職員が出動すると、平日の事業所の開所日の職員配置が難しくなる。	勤務体制の変更を行い、連休や祝日の日に保護者が参加できる行事(研修やレクリエーション)を計画する。
2	保育所等訪問支援事業を行っていない。	学校での授業中の様子、友達との関係や学力の様子がわかりづらい。	担当者支援会議等で関係機関との連携を図り、1年に1回は各学校の見学を行い、学校と情報共有を密に取っていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもデイサービス ぽっぽ

公表日 R8 年 3 月 31 日

利用児童数 R8 年 3 月 31 日 13名 回収数 11

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	2	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	0	0	少し歩いた坂の下に遊具があるのも、ぽっぽの前で車が入ってくるのがわかり外での活動も充実していると思います。	母体が社会福祉法人の為、法人の共有施設や設備を利用できる所が、強みでもあります。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	1	0	0	いつも子どもに合わせた支援をしていただき、ありがとうございます。	困りごと等は一緒に共有して、話し合いながら支援の方向性を決めていきます。いつも、保護者のご協力ありがとうございます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	0	0	0		支援プログラムが絵に描いた餅にならないように日々努めています。また、ぽっぽが長年行ってきたことを支援プログラムに示しています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	0		こどもと保護者とは毎日の会話でニーズや課題について話をさせてもらっています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	0	0	0		ある程度行事は固定化しているが、マンネリしないように毎年アンテナを張って楽しい療育活動が出来るように配慮しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	1	2		再来年度あたりに、活動が出来るように計画していきます。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0		毎回、保護者の方にはお時間を取って頂き、ありがとうございます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0		毎回、保護者の方にはお時間を取って頂き、ありがとうございます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	0	3		保護者への研修会は行っていきたいです。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10	1	0	0		共通理解が出来るように、随時話し合っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2	0	0		モニタリングにゆっくりとお話を聞いています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	2	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	5	2	保護者の交流会があると嬉しいです。	来年度は保護者も参加できるイベントを検討予定です。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	2	0	0		相談支援事業所と連携し、必要であれば関係機関等の紹介を行っています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1	0	1		公式ラインにて、対応しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	1	0	0		インスタグラムやホームページ、毎月の広報誌で活動内容や行事の様子を発信しています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	0			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	2		年に3回ほど地震や火災の避難訓練を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	1		事故が発生した際は、速やかに処置をして保護者へ伝えていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	0	助言や支援内容を共有していただき、安心して通所させていただくことができています。	引き続き、職員間での共有や支援についての勉強会等を行っていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	0	0		こどもたちの趣味嗜好を理解し、魅力のある活動内容を考えています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1	0	0	土曜日も見ていただくと仕事もできるのでありがたいです。	職員の勤務配置上、難しい為検討しておりません。申し訳ございません。
自由記述欄	<p>・いつも子どもに合わせた支援をしていただき、ありがとうございます。助言や支援内容を共有していただき、安心して通所させていただくことができています。</p> <p>・いつも一人一人に合った支援をして頂き本当にありがとうございます。職員の皆さんも明るく子どもがほっほ楽しかったといつも話してくれます。少し歩いた坂の下に遊具があるのも、ほっほの前で車が入ってくるのがわかり外での活動も充実していると思います。</p> <p>・長期休みも仕事の就業時間の都合でヘルパーさんに来てもらいお願いしてスムーズに仕事に行けるので感謝しかありません。</p> <p>・長期休みのお出かけで今回はアレルギーがある息子の食べれるところも調べて貰い、いつもみんなと一緒に食べれないの今回は頼めて食べれて本当に親子で嬉しかったです。調べてくれてここならと提案してくれて嬉しかったです。いつも学校での様子を先生にも聞いてくれて、ほっほでの様子も伝えてくれて本当にありがとうございます。</p> <p>・保護者の交流会があると嬉しいです。そして、土曜日も見ていただくと仕事もできるのでありがたいです。</p>							

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもデイサービス ほっぽ			公表日	R8 年 3 月 31 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	スペースが分けられている所。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	職員が休みの時はほかの職員でフォローが出ている。	非常勤の方の休みが重なった際に、大変だと感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	トイレのドアが、折れ戸で鍵が掛けにくかったので普通のドアに替えた。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日掃除や消毒を行っている。空気清浄機や加湿器もある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	小部屋や、ユニットハウス等を利用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	毎日、子どもたちの出来事について話している。	正規職員のみが参画している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	ファミリーサポートで子供たちの家の様子等も聞くことが出来る。	保護者の全部の意見を参考にしたいが、現実的には難しい内容もある。
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	話し合いが出来る環境にある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	動画視聴にて研修を行っている。時には対面の研修や九州地区の研修に参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		支援プログラムも1年に1回は見直しが必要となってくる。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	正職員全員で話し合っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		計画通りに行っていない場合は、ミーティング時等に話し合うようにする。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	毎日の活動に関しては、一人でやることも多いが行事等は提案したりしてチームで考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	運動や制作等の活動を日替わりで行い、曜日固定はしていない。個別活動のみ毎週火曜日にして準備がしやすいようにしている。火曜日利用ではない方は、他の曜日に個別活動を入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	集団活動が出来ない場合は、個別に対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	非常勤職員にはチャット等で引き継いでいる。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・非常勤職員は退勤時間が違うため、翌日に振り返り等の共有をすることもある。 ・退勤した職員にはチャット等で引き継いでいる。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	毎日の様子をメモできるように手書きの日誌を利用。	AIが利用できると良いと思う。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	毎月のミーティング記録を参考にモニタリングし計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	0	地域の催しを見に行ったり、公共交通機関を利用する機会を設けている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・子どもたちに活動内容を決めてもらう日を設定している。 ・常々、選択できるように支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達支援管理責任者が主に参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	担当者支援会議や学校での会議の際に連携を行っている。	全員が連携できている訳ではない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校側も協力的で、マメに連絡をくださっている。	ヒューマンエラーがあるので、確認を密に行う。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	・相談員を介して情報をいただいている。 ・担当者会議等で話を聞く機会もある。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	・小学生対象のため情報提供は行っていないが、必要があれば提供できる。 ・小学生が多いのでその機会がない。法人内の年齢の高い放課後等デイサービス事業所へ移行する際には、支援内容の情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	児童発達支援センターではないが、SV派遣を依頼している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	2	他事業所とのイベントがあり子ども達の刺激となつて良かったと思った。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	月に一度、児童部会に参加している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	日頃の様子は送迎時等にお伝えしたり、事業所公式ラインでお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	相談支援事業所が主催の親の会を紹介している。	情報提供は行っているが、研修までは行っていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に児童発達支援管理責任者が説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	保護者同士で交流できる機会は提供できていないため、何らかの形でそういった機会を設けたい。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	事業所まで赴いて頂き、サービス計画説明後に署名を頂いている。父親も同席する場合もある。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	モニタリング時や、送迎時に相談があれば助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3		・保護者同士の繋がりが出来るような機会を設けたい。 ・きょうだい同士の交流はまだ小さいこともあり難しいと感じる。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・毎月のほっぼだより（広報誌）は自分の振り返りにもなり楽しみである。 ・毎月通信を発行し、SNSは月に2回ほど更新している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報を外へ持ち出さないようにしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	イラストや言葉を用いたカードや掲示等で分かりやすく伝えるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	ほっぼ単独では、地域の方をお呼びする機会はないが、法人で文化祭等を行い地域の方に参加してもらっている。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	定期的な訓練、確認を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	定期的な訓練、確認を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	服薬状況は契約時やモニタリング時に確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	指示書はないが、おやつは食べられるものを保護者から聞いて提供している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	定期的な訓練、確認を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時や、モニタリング時に伝えている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	毎回行っている。	同じ内容が上がる場合もあるので、対策の徹底を行う。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修会は年に1～2回行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	契約時や、モニタリング時に確認している。	